



研究トピックス

主に Big Data・GIS などを用いた観光行動・ビジネスの調査研究

専門分野

観光（観光ビジネス・観光行動）

金 徳謙 KIM Deokkyum

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=yymiysykggy>

研究概要

主に島嶼観光が周辺の地域にもたらす効果を、膨大な量の文字や画像、映像など、いわゆる Big Data を手がかりに研究しています。データの収集および分析には主に、（１）文字データにはテキストマイニング（内容分析）、（２）画像データには AI を応用した解析技法、（３）空間データにはデジタルマップの制作・操作・分析に欠かせない GIS (Geographical Information System) 分析、を用いています。このため、従来の抽象的でわかりにくい結果とは異なり、より客観的で明確な結論を得ることができます。

研究シーズの応用

つぎのような４分野に応用ができると思います。

- ・地域の観光情報発信のための WEB 用 3D 観光ガイドマップの作成

GIS を用いた正確なデジタルマップを制作し、ホームページなどへの公開することで、地域の魅力を新たな感覚でアピールすることができます。

- ・地域における観光者の回遊行動の把握・分析

来訪する観光客の行動を「多分」こうだろうと把握しているケースが多いと思いますが、観光者の行動を GPS などを使った調査により、より正確に把握することができます。このため、地域内における精度の高い観光計画や需要の予測などができます。

- ・観光者が地域に対してもっているイメージの分析

アンケートなどによる調査では地域の立場から観光客が持っているだろうイメージを推測することはできませんが、実際の観光客が持っているイメージを把握することは、ほぼ不可能です。観光客が SNS などに書き込んだ膨大な口コミや評価情報（いわゆるビッグデータ）を収集、分析することで、観光客の本

音を読み取ることができます。

- ・観光政策やまちづくりに必要な基礎調査

政策立案は正確なエビデンスに基づく必要があります。正確なエビデンスは精度の高い調査を行うことでこそ手に入れることができます。観光客の本音を読み取る、行動を正確に把握する、特徴を正確に把握するなどのことは、近年のビッグデータやA I 技術を応用した手法を用いることで必要なデータを手に入れることができるようになります。

キーワード

Big Data GIS 観光 行動



研究トピックス

消費者意識調査、政治的消費行動、 国間比較分析

専門分野

マーケティング論、消費者行動論、マーケティング・リサーチ

嚴 秀延 YAN Xiuyan

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymmeygyeggy>

研究概要

これまでの研究は、倫理的消費行動 (ethical consumption) の一種である政治的消費行動 (ボイコット vs. バイコット) をテーマに国間比較分析を行ってきた。主に、国際マーケティングの観点において、グローバル企業が予測しない消費者ボイコット運動に直面した場合、企業戦略が消費者の心理的プロセスから実際の消費行動にどのように影響を与えるかを学術領域から検討してきた。

研究シーズの応用

地域や産業界が抱える問題を対象に、実際の授業で取り組むことで、実際の社会問題に対する大学生の視点からのリサーチ案を提案してもらう。そして、アンケート調査により収集されたデータを用いて、リサーチ案の実現可能性を分析する。

キーワード

消費者、地域課題



研究トピックス

海洋環境保全のための生物多様性学

専門分野

動物系統分類学 海洋環境科学

岡西 政典 OKANISHI Masanori

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymsgkodggy>

研究概要

海洋は地球の7割（面積）から9割（体積）を占める重要な環境である。近年、プラスチックによる汚染などによって多くの海洋生物に影響を与えられていることが問題となっており、その保護が喫緊の課題となりつつある。しかし海洋生物は水中におけるモニタリングの難しさから、その保護対策の選定が難しい。本研究では、環境DNA手法などの開発によって、海洋生物を対象としたモニタリング方法の策定を行う。

研究シーズの応用

企業が海洋環境を開発する際の海洋環境モニタリング法を提供することが可能。特に環境DNAモニタリング法は、最新研究に基づいた非破壊的な方法である。

キーワード

瀬戸内海 海洋環境汚染 海洋環境保全



研究トピックス

環境的影響の評価や環境財・サービスの 経済的評価

専門分野

環境評価論

長谷川 弘 HASEGAWA Hiroshi

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkigsgeggy>

研究概要

環境アセスメント、環境経済評価手法（TCM、CVM 等）、費用便益分析などを用い、SDGs を目指した環境配慮型公共事業の計画づくりや政策の策定

研究シーズの応用

複数考えられる事業案や施策アプローチのそれぞれについて、社会面、経済面、技術面、環境面等さまざまな視点から客観的に分析し総合的に評価することで、すべてのステークホルダー（地域住民、事業者、行政等）に合意される最適案を提案する。

キーワード

環境価値の見える化 SDGs 的総合評価 住民参加



研究トピックス

各個人の幸福感を高められる、市民参画 による持続可能なまちづくり

専門分野

都市計画 都市戦略 環境システム

三浦 浩之 MIURA Hiroyuki

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymigsgsggy>

研究概要

地方版総合戦略、長期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画、環境基本計画、循環型社会形成推進地域計画、廃棄物減量等推進計画、住生活基本計画、社会資本総合整備計画、下水道整備計画等の策定に関連する研究に取り組むとともに、各自治体において、これらの策定にも関与しています。とくに、EBPM (Evidence Based Policy Making) と市民関与による政策・計画の立案、オープンガバナンス、そして、これらに寄与するオープンデータに着目しています。

研究シーズの応用

政策・計画の立案における EBPM アプローチと、立案における市民関与の手法およびオープンガバナンス、そしてこれらに寄与するオープンデータについて、応用できるシーズを有しています。

キーワード

EBPM 市民関与 オープンガバナンス オープンデータ 協働



研究トピックス

世界の中の日本について、日本政治、日本外交、国際政治の枠組みから考察している。

専門分野

国際政治学 国際日本学

三上 貴教 MIKAMI Takanori

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ykmkmgssoggy>

研究概要

最新の研究において「十年一昔アプローチ」を提唱している。10年前の施策を現在から照射することで、その成否、残された課題、今日への影響について考察する。また10年後のあるべき姿から現在の施策を検討し、その意味、有効性を議論する。首相による施政方針演説を主なテキストとしている。

加えて国際政治学理論におけるソフトパワーを考える研究、国際社会に横溢するランキングを素材とした研究も行っている。ランキングについては、これを無批判に受容するのではなく、その背後にある意図、問題意識、作成手法にも注意を向ける、言わばランキング・リテラシーの向上に結びつける必要性について主張している。

研究シーズの応用

「十年一昔アプローチ」は、本研究者が専門とする政治学に関連する分野を超えて、現在の社会状況を分析する上で、広範な領域における応用が可能である。10年前の中国やアメリカが国連で主張していたことの内、何が実を結び、何が単なる掛け声だけに終わってしまったのか。国際社会の環境の変化を変数として認識しつつ、客観的、表面的に捉えられるデータを掌握すると共に、価値観やアイデンティティなど、文化的な要素も加味して論究する。世界の中の広島を考える上でも有用な手法であると確信している。

キーワード

世界の中の日本 日本の中の世界 ソフトパワー



研究トピックス

チェコから見たヨーロッパ理解

専門分野

国際政治史 中欧地域研究 チェコ研究

矢田部 順二 YATABE Junji

教員情報 <https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygioiggy>

研究概要

これまで国際政治史研究の立場から、チェコ現代史、チェコスロヴァキア対外関係を研究してきました。チェコ共和国と周辺諸国の相互関係の歴史分析が専門領域です。チェコ教育省の政府給費留学生として2年半、さらに在チェコ日本大使館の専門調査員として2年、現地に滞在した経験から現地語であるチェコ語を使った研究をしています。地域を理解するには総合的アプローチが必要との考えから、政治研究のみならず文化理解の造詣も深めるように努めています。

研究シーズの応用

かつては「鉄のカーテン」の向こう側だったチェコスロヴァキア。現在はチェコ共和国となり、EU加盟国です。日本ではまだあまりよく知られていない国かも知れませんが、原爆ドームの設計者がチェコ人建築家のヤン・レルツであったことなど、広島ともつながりのある国です。地域研究の立場から情勢説明や、地域理解の支援、あるいはチェコ語学習の教授などができます。また、中欧地域の政治文化についても解説することができるでしょう。

キーワード

ヨーロッパ理解 地域研究 チェコ語